

～院長コラム～

『対人・視線恐怖』

こういう疾患は、通常精神科で診察を受けてもらいます。
しかし、この方は引きこもりになってしまったので、自ら受診する機会が減り、なくなったそうです。
結果、10年引きこもりをしましたが、症状が緩和しました。
自宅から出て診療を受けるようになりました。
18歳のときに、友人に鼻の下の産毛をからかわれたのがきっかけだと言います。
これだけではないと思いますが、そう訴えます。
引きこもりをしていたら、上肢に紫斑が出現しました。
出血傾向はなく、特別な異常を認めません。
漢方でいう「心脾両虚」です。
脾（消化管機能）の統血・固摂作用の低下といえます。
グッと引き締めていた作用が緩んで紫斑ができる、というイメージです。
これは高齢者でも見られます。
こういうときは、帰脾湯（きひとう）です。
生真面目な方が多いので、真面目に漢方薬を飲むと改善することが多いです。

「子ども健康ネットブログ」より



子ども健康ネット
ブログ
QRコード



なかしまこども
クリニック
公式LINE



FUKUSUKE
チャンネル
YouTube

なかしまこどもクリニック



通信

2025年5月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★漢方外来 14:00~17:30 受付

△乳幼児健診及び予防接種



TEL:058-327-3100

2015年5月11日～
診察・予防接種
インターネット予約
QRコード

